

[標準様式例 7-3]

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	R3 災害リスク情報の理解を通じたまちづくり検討業務
業 務 概 要	本業務は、頻発する自然災害に対応するため、災害リスク状況や都市構造についての資料整理を行い、地方公共団体が災害リスク情報の理解を通じたまちづくりを展開する上での支援方を検討することを目的とする。
契約担当官等の氏名並びにその所属する部の名称及び所在地	支出負担行為担当官 関東地方整備局長 若林 伸幸 埼玉県さいたま市中央区新都心2番地1
契 約 年 月 日	令和3年 8月23日
契 約 業 者 名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ 埼玉事務所
契 約 業 者 の 住 所	埼玉県さいたま市中央区新中里四丁目14番17号
契 約 金 額	¥6,985,000円 (税込み)
予 定 価 格	¥6,996,000円 (税込み)
随意契約によることとした理由	本業務を遂行するためには、高度な技術や経験を必要とすることから、業務の実施方針と特定テーマに関する技術提案を求め、簡易公募型プロポーザル方式により選定を行った。株式会社オリエンタルコンサルタンツは、技術提案書において総合的に最も優れた提案を行った業者であり、当該業務を実施するのに適切と認められたため、上記業者と契約を行うものである。
業 務 場 所	関東地方整備局管内
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履 行 期 間 (自)	令和3年 8月24日
履 行 期 間 (至)	令和4年 2月28日
備 考	会計法29条の3第4項 予決令第102条の4第3号

備考

公表対象随意契約が単価契約である場合には、契約金額欄に契約単価を記載するとともに、備考欄に単価契約である旨及び契約単価に予定調達数量を乗じた額を記載する。